

資材や燃料等の高騰 に対し、地場産業へ の対応は

市長 令和3年度は、
燃油購入代の補助を
行う。



吉岡 巖 議員

コロナ対策に対する地場 産業への支援について

議員 12月議会でも市長に

農業、漁業に対しての燃料支援を要望したところ、早速対応していただき、生産者に代わりお礼を申し上げたい。今後も、支援に関しては協力、理解のほどお願いしたい。

市長 コロナ対策に対する地場産業への支援について、コロナだけでなくロシアによるウクライナ侵攻等によって、資材や燃料等が高騰している。市として地場産業に対する対応はどのように考えて

いるか、お尋ねしたい。また、漁協自体が、JAと違い、経営基盤が弱い。そのため、資材や燃料の高騰や、昨年は水揚げした魚の価格が暴落して苦しい状態であり、南島原市内の漁協が経営難に陥っている。



みかんハウス

市長 コロナ対策に対する地場産業について、新型コロナウイルス感染症拡大や長期化に伴う需要の減少、それから供給の規制により、大きな影響を受けて、売上高が減少した事業者への支援を計画している。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生

臨時交付金を活用し、燃料価格の高騰により経営を圧迫されている農業者、漁業者の負担軽減を図るために、燃油購入代に対しての補助を行う。

貝崎港について

議員 貝崎港の改修の段取りについて現況は。

農林水産部長 布津貝崎漁港の改修の段取りについて、令和4年度は測量設計とボーリング調査を行い、令和5年度から改修工事を計画している。

しゅんせつ工事を令和4年度行う予定だが、ワカメの養殖に影響がないよう、工事時期については漁協と十分協議を行いながら実施していきたい。

潮入崎地区について

議員 潮入崎地区の海岸整備について着工の予定は。

農林水産部長 現在の予定は4月上旬に起工、5月に入札、6月から着工して、9月のワカメの時期前までに完成するよう計画している。

閉鎖した旧給食センター利用についての相談が数件あると聞くが。



隈部和久 議員

旧給食センターを 雇用の場に

市長 検討する。

議員 閉鎖した旧給食センター利用についての相談が数件あると聞くが。

総務部長 6件の相談があつており、加工所や工場等に使用できないかという内容である。

議員 私所有地を借り上げている所で、給食センターとしての使用を終えた場合は、解体・撤去し、更地で返却するという契約の建物が数か所あるが、民間活用で雇用に資する場合は、市が継続して借り上げ、業者に貸し出す考えはないか。

間事業者との間で土地の賃貸契約が成立した場合は、建物は市から事業者に譲渡するが、市が今のまま借り続け、事業者に貸すという考えは難しい。



布津学校給食センター

議員 私も旧センターで事業をしたいという相談を受け、雇用の一助になると判断し関係者の話を聞いた。地権者は、市に貸す場合は、最終的な現状復帰まで責任を持って履行してくれるという安心感があるが、民間事業者に対しては、その部分の不安が払拭できないという思いが強い。市内に新たな業種ができ、雇用の場ができる可能性があるならば、トップとして

市長自ら、地権者をお願いするよう強く要望する。

市長 検討する事は、やぶさかではない。

「コロナワクチン接種について

議員 5歳から11歳までの接種についての説明を。

市長 2月21日に国からの指示を受け、4月よりファイザー製ワクチンを、3週間の間隔を空けて2回の接種を行う。接種会場は、市内医療機関、集団接種会場を予定し検討している。

議員 現在の感染状況について、陽性者数は多いが、その中で若年者の重症化はごく僅かであり、殆どが軽症が無症状である。これに対し副反応の予測は示されているが、将来の後遺症の知見は解からない。今回の接種は努力義務の対象ではないので、保護者の判断材料となるようしっかりと情報提供を望む。

質問の様子を
動画で見よう



質問の様子を
動画で見よう

